



1/28 市民病院の建て替えを考える ～新病院建設基本計画（案）答申～



▶山下市長（右）に報告書などを提出する小野友道会長（熊本保健科学大学学長）（左）

市が昨年策定した新病院建設基本構想を踏まえ、荒尾市民病院あり方検討会は新病院建設事業の設計条件や収支シミュレーションなどについての「新病院建設基本計画（案）」を市長に答申しました。また、「荒尾市民病院中期経営計画」の実施状況の点検・評価を行い、報告書も提出しました。山下市長は「基本計画（案）」などを参考に多くの市民の理解を得て、市の方針を決定したい」との意向を示しました。詳しくは市ホームページからご覧いただけます。

2/1 県内最大規模のメガソーラー ～ソフトバンク熊本荒尾ソーラーパーク運転開始～



▶同社はソフトバンクグループのSBエナジー株式会社と三井物産株式会社の共同出資です。

熊本荒尾ソーラーパーク株式会社の大規模太陽光発電所「ソフトバンク熊本荒尾ソーラーパーク」（大島）は運転を開始しました。発電所の出力規模は市内全世帯の1/4（およそ6千世帯）の年間電力消費量に相当する22.4メガワットです。同ソーラーパークには、発電量などを示す電光掲示板や施設全体を見渡すことができる見学施設も設置されています。環境学習施設として活用されることが期待されます。

2/7 ひとひと女と男がいいきと輝く荒尾を目指して ～男女共同参画都市宣言10周年記念フォーラム～



▶荒尾市男女共同参画都市宣言文を実行委員会で読み上げました。中央が松尾さん。

記念フォーラムは文化センターで開催され、350人ほどが来場しました。男女共同参画についてのメッセージの優秀者表彰、荒尾の物産品販売や松尾州裕さん（まつおレディースクリニック院長）による講演会が行われました。講演会では「みんなに知ってほしい、女と男の話～私と男女共同参画の15年～」と題し、産婦人科医としての実体験からさまざまな視点で講演。参加者は「男女共同参画社会の必要性を考えさせられました」などの感想を寄せました。

2/9 ますますのご活躍を！ ～最高裁判所長官表彰・瓦技能競技大会優勝報告～



▶左から松永さん（荒尾家裁調停委員）、末吉さん（有限会社丸宗瓦）

調停委員として最高裁判所長官表彰を受けた松永源六郎さん（大和）と瓦技能競技九州大会で優勝した末吉真也さん（樺上）が市役所で山下市長に受賞と優勝の報告を行いました。松永さんは16年間、夫婦問題や相続などの調停に尽力。「これを励みに定年まで頑張ります」と、力強く話していました。末吉さんは「自分の作った瓦が荒尾の風景の一部になるのはこの上ないこと。今後は技能五輪へ出場できるようにさらに努力します」と、意欲を見せていました。

地域の活動 掲示板

<p>どんどや</p>  <p>1/12</p> <p>二小元気会</p>	<p>どんどや</p>  <p>1/18</p> <p>一小学校元気づくり委員会</p>	<p>歩け歩け大会</p>  <p>2/11</p> <p>有明地区協議会</p>
<p>文化講演会</p>  <p>2/14</p> <p>中央地区協議会</p>	<p>歩け歩け万田山ハイキング</p>  <p>2/15</p> <p>万田中央地区協議会</p>	<p>地域交流グラウンドゴルフ大会</p>  <p>2/15</p> <p>府本地区協議会</p>

2/11 子どもの健やかな成長を願って ～西原大神宮春季例大祭 にしばるさん～



▶子どものすじ、ひきつけの神様としても有名です。

西原大神宮でにしばるさんは行われました。にしばるさんは子どもの神様として信仰されています。神の使いである鶏の絵が描かれた絵馬に子どもの年齢と名前を書いて奉納する珍しい習わしもあります。当日は小さな子どもを連れた家族や遠方に住む孫の健康を願う人などが訪れていました。家族で参拝した人は「子どものときから参拝しています。今では私が親となり、親子2代でお世話になっています」と、話していました。

2/13 素敵なお縁がありますように ～四山神社春季例大祭 こくんぞさん～



▶巫女姿の子どもたちが浦安の舞と豊栄の舞を奉納しました。

四山神社でこくんぞさんは行われました。この祭りでは福銭と呼ばれる五円を借り、次のお礼参りで倍額以上を添えて返すのが習わしです。福銭は神様と金運にご縁があり、商売繁盛・縁結び・家庭円満のご利益があります。地元の中学生による浦安の舞、小学生による豊栄の舞の奉納も艶やかに行われました。浦安の舞を奉納した人は「きちんと役目を果たせて安心しました。踊り手を務められる中学3年生まで舞を奉納し続けたい」と、話していました。